

再評価対象事業

大規模特定河川事業 高瀬川水系

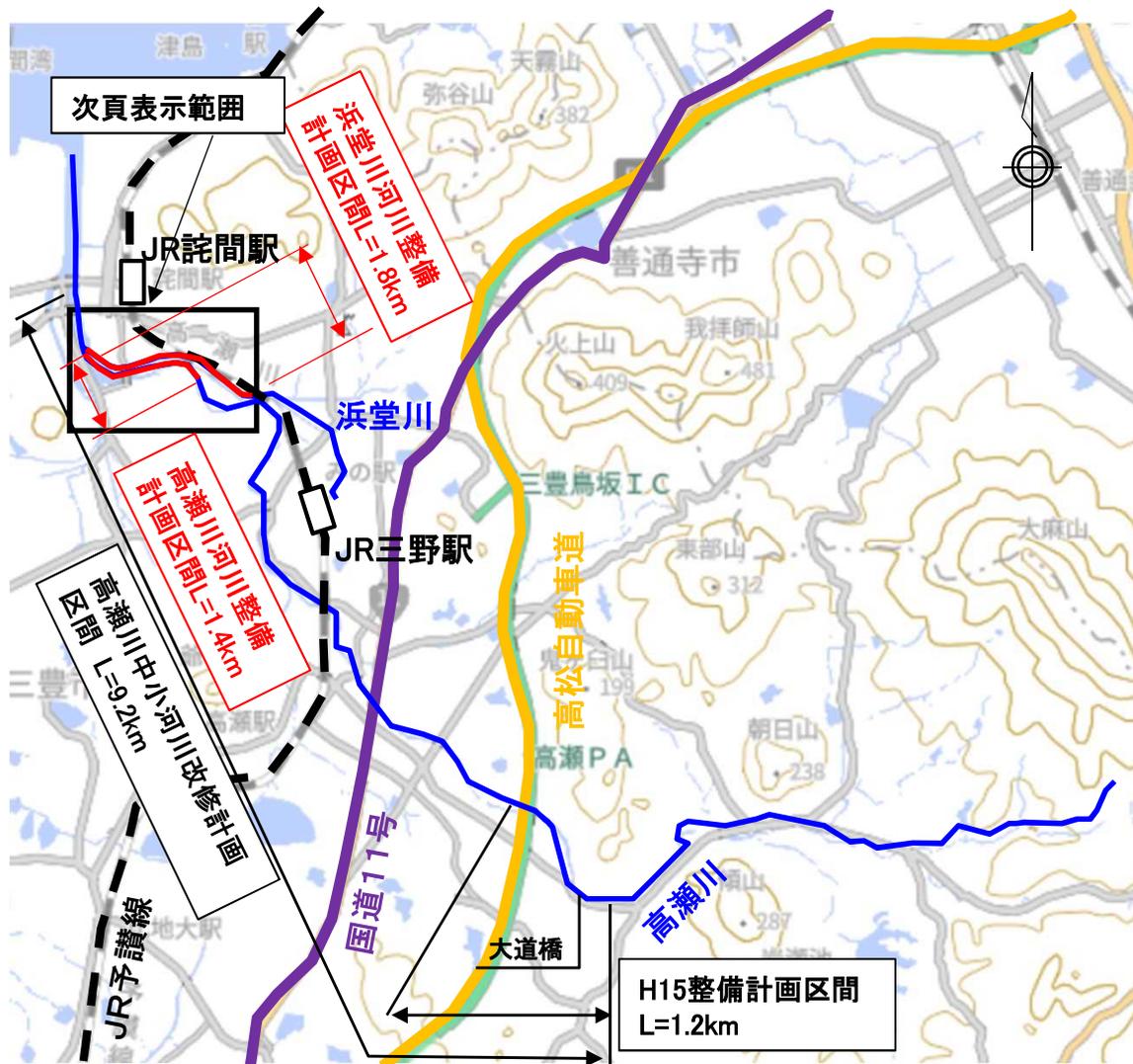
香川県土木部河川砂防課

1. 再評価対象事業 位置図



2. 再評価対象事業 計画図

位置図



河川改修の経緯

- S41 (1966)** : 中小河川改修事業に着手
河口～大道橋上流 (9.2km)
- H13 (2001)** : 河川整備基本方針策定
- H15 (2003)** : 河川整備計画策定
高松自動車道付近～大道橋付近 (1.2km) 整備に着手 (R5完了)
- H16 (2004)** : 平成16年災害
台風23号
- R02 (2020)** : 河川整備計画変更
高瀬川・浜堂川の合流点付近の河川改修に着手
高瀬川は合流点から上流1.4kmの区間、浜堂川は合流点から上流1.8kmの区間

河川整備計画の概要

対象期間

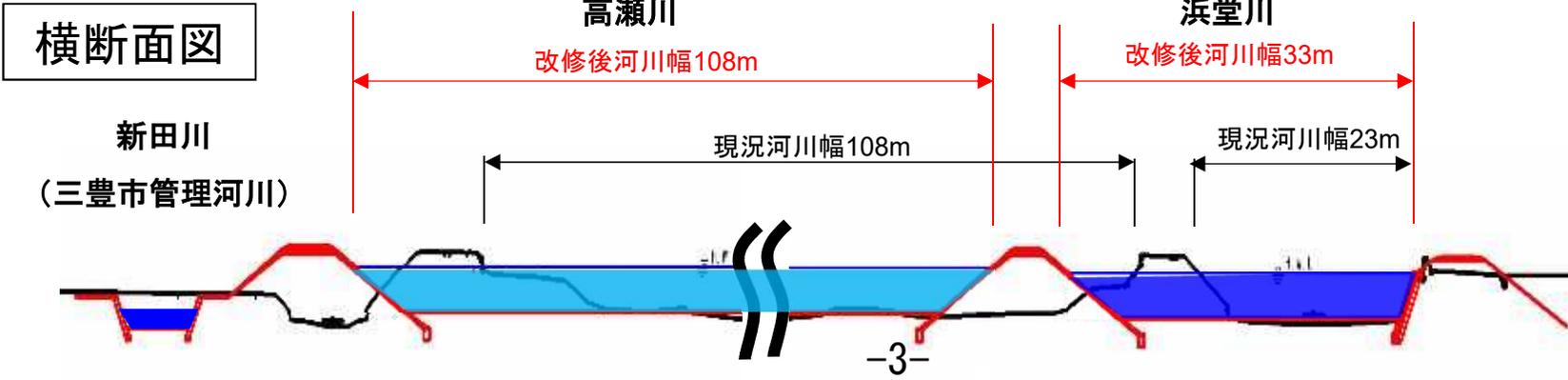
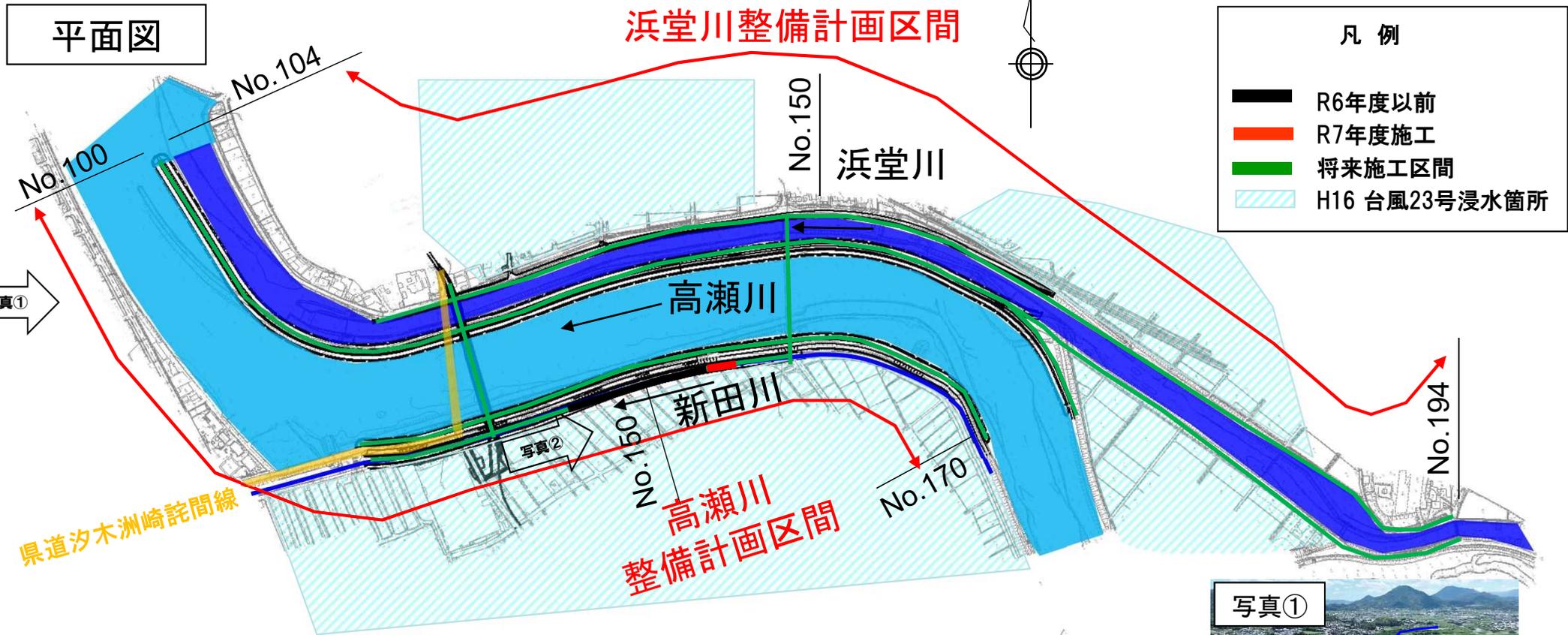
- 概ね30年とする

対策の目標

- 流域の人口、資産状況、氾濫面積等の治水上の重要度や過去の水害実績を考慮し、高瀬川では50年に1回程度、浜堂川では10年に1回程度の降雨で発生する洪水を安全に流せること

出典: 国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp>) を加工して作成

3. 再評価対象事業 説明図



4. 被害の発生状況

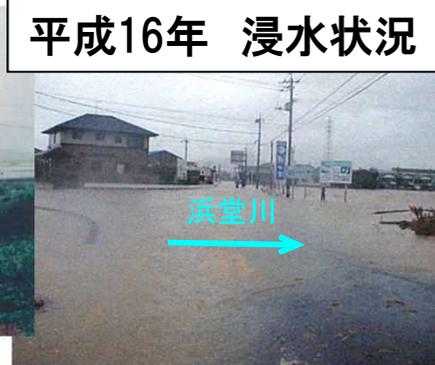
過去の浸水被害

出典：水害統計

発生年月日	発生要因	観測局	最大 時間雨量 (mm/h)	最大24時間雨 量(mm/h)	浸水家屋(棟)		
					床下	床上	合計
昭和62年10月16日～19日	台風19号	多度津	38.5	148.5	69	5	74
平成2年9月11日～20日	台風19号	多度津	29.0	184	24	—	24
平成16年8月16日～21日	台風15号	多度津	53.0	119	15	—	15
平成16年10月18日～22日	台風23号	多度津	29.5	133	104	8	112



昭和62年 浸水状況



平成16年 浸水状況

再評価の視点

①事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 浜堂川の未改修区間の現在の流下能力は44 m³/sで、計画流量(80 m³/s)に対し55%となっており、河川改修が必要である。高瀬川は浜堂川の拡幅に合わせて背割堤の移設、引提及び護岸等による河道改修を行うこととしている。
- 平成16年台風23号をはじめ、これまでに、未改修区間において浸水被害が発生していることから、早期の対応が必要である。
- 水害防止の観点から、残る未改修区間についても、地域住民及び地元市は、早期の改修を望んでいる。

2) 事業の進捗状況

- 工事：事業費ベースで10%が完了している。
- 用地：事業費ベースで7%が完了している。

②事業進捗の見込みに関する視点

- 未改修区間において、用地買収及び工事を実施中であり、今後、円滑に進捗できる見込みである。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- 橋梁の架け換えについて、新橋を既設橋上流側に架け替えることで施工中の仮橋が不要になり工事費のコスト縮減を図る。
- 現河川を活用して拡幅することにより用地費のコスト縮減を図る。
- 代替案立案等の可能性については、社会的影響、環境への影響、及び事業費等を考慮し、現計画が最も妥当と判断している。

対応方針(案)

以上のことから、**事業を継続する。**